

令和2年度豊能医療・病床懇話会結果の概要

1 地域医療構想の推進および新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制に関する意見

- 豊能圏域は高度急性期、急性期ともに過剰となっているが実際は不足していると感じている。大阪市立弘済院附属病院の住吉市民病院跡地への移転により豊能圏域の病床が減少することについてもう一度検討をお願いしたい。

(大阪府の回答) 引き続き検討したい。

- 今般新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療情勢のひっ迫が問題となっている。有事に備えた対応を考えておく必要がある。また有事の際の医療資源の情報を有効活用できるシステムが必要。

(大阪府の回答) 新型コロナに関わらず新興感染症等については、平時からの取組について第8次医療計画で追加するという国の考え方が示された。都道府県においても国の方針に基づき今後これに関する検討を始めていく予定である。

2 病院の将来プランに対する意見・質問等

(1) 公立・公的病院

- 公立病院：

市立吹田市民病院、市立池田病院、箕面市立病院、市立豊中病院：意見なし

- 公的病院

国立循環器病研究センター、大阪市立弘済院附属病院、大阪府済生会吹田病院、済生会千里病院、大阪大学医学部附属病院、国立病院機構大阪刀根山医療センター、関西メディカル病院：意見なし

(2) その他、民間病院等に対する意見・質問等

- 特になし

(3) 非稼働病床の現況について

- 特になし

(4) 重点支援区域の申請の意向

- 意向なし

3 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

- 意見なし

4 豊能二次医療圏における第7次医療計画における取組状況の評価について

- 意見なし

5 地域医療支援病院の承認について（市立吹田市民病院）

- 意見なし

6 豊能広域こども救急センター報告

- 意見なし